

第 10 回奈良県地方協議会の議事概要(令和 3 年 2 月 15 日)

1. 第 9 回協議会（令和元年 10 月 23 日開催）の概要について

【資料 1 により事務局より説明】

- (1) 輸送品目別地方懇談会の設置について（加工食品、建設資材、紙・パルプ）
- (2) 県内企業におけるホワイト物流推進運動の取組状況について
- (3) 働き方改革に関する取組状況について
- (4) 中央協議会等の情報提供等
→意見・補足等なし。

2. 「令和元年度アドバンス事業（加工食品、建設資材、紙・パルプ）の実施結果報告について」及び「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」について【資料 2、3 により事務局より説明】

→（経済団体委員からの意見）

- ・デジタル化が推し進められているが、リーディングモデル事業の支援策として策を講じることはいかなる。調査や実証事業で終わることがないよう、何が懸案なのかなど実態に意識しつつ実行していただきたい。
- ・実証事業での懸案や、取引環境改善に着手できない理由については、その点を踏まえつつ報告書を取りまとめていきたい。

3. 新型コロナウイルス感染症による業界への影響について

【資料 4 により事務局より説明】

→（トラック協会委員からの意見）

- ・全日本トラック協会の景況感調査によると、令和 2 年 4～6 月の 3 ヶ月間は、宅配貨物の大幅改善を含めているにも関わらず最も大きく下落しており、一般貨物等の宅配以外の収益は相当厳しかったと思われる。

→（荷主委員からの意見）

- ・荷主側もコロナ禍により業績に大きな影響が出ており、減便をお願いせざるを得ない状況が続いている。
- ・病院関係は、消毒・検温・マスク着用等の要請があり応じていただいているため、増便により運転者負担の軽減を図らせていただいている。
- ・食料品業界は、業績が好調なところとそうでないところがあり、業界内の景況も「まだら模様」。コロナ禍でも大手メーカーは、設備更新を計画的に進めているがかなり減っており、全体としては 3 割ほど減少。所属団体における景況も同様であり、業態的に、受注が運送量に反映されるのが 3～6 ヶ月後となるため、来年度上半期までは厳しいのではないかと。

4. 「新型コロナウイルス感染症禍における「新しい働き方」による働き方改革の推進」について【資料5により事務局より説明】

→意見なし。

5. 今後の取組について

(1) 新たな実証事業について

加工食品分野におけるトラック予約受付システム使用率向上（大阪府実証事業）

【資料6により事務局より説明】

→（座長からの意見）

・かなり日程が厳しいが今年度中に実施できるのか。

→（事務局より今年度中に実施する旨説明。）

(2) 標準的な運賃の普及とホワイト物流推進運動の取組状況について

【資料7、8により事務局より説明】

→（経済団体委員からの意見）

・広報誌にて概要を周知やパンフレットがあれば置いてもらうことも出来るのではないかと。

・ホワイト物流推進運動は、「説明会の実施」と「文書の発出」が現実的な取組みではないか。自主行動宣言提出状況は、奈良が割合として低い。何故宣言に至らないのか掘り下げることによって次の策が見えてくるのではないかと。前回も述べたが、「もう一押しの後押し」となるメリットを打ち出してもらうことはできないかと。

→（事務局：掘り下げ方については関係者で相談の上検討したい。）

→（トラック協会委員からの意見）

・運転者の高齢化と供給減が加速しており、自動運転も研究開発が進められているが、直近数年で簡単に進められるものではなく、他産業と比べて長時間・低賃金と言われる労働条件の改善のためには、標準的運賃を目安としていかなければならないので、何卒理解していただきたい。

→（座長からの意見）

・トラックドライバー不足解消に向け労働環境や取引環境の改善に取り組むためには、いくつも越えるべき山がある。女性運転者の確保となると、衛生環境その他配慮すべき点や長時間労働の問題が発生している業界のままでは、かなり参入が難しい。これは男性にとっても同じ事。このままで維持できないのであれば、様々な対応策が必要。国のバックアップも必要。

6. 中央協議会の情報提供等【資料9—①～⑤について事務局より説明】

(1) 取引環境・労働時間改善中央協議会の情報提供について

→（座長からの質問）

・（「荷主と運送事業者のためのトラック運転者の労働時間削減に向けた改善ハンドブック」を再整備した）WEB上の自己診断ツールで、県下で活用して結果を出している事業者はあるのか。

→（事務局：現状把握なし）。

（２）自動車運送事業のための「働きやすい職場認証制度」について

→（座長からの意見）

・始まったばかりの取り組みではありますが、割合としては奈良県の取組が進んでいるようなので、このまま促進していけばいいと思われるし、メリットを打ち出すことができればなおよい。